

V 有効性や効率性の向上の可能性があると判断した事務事業⇒ 5-④ 受益者負担の見直し

整理 No.	課名	事業 CD	事務事業名	区分	V-④受益者負担の見直し		調整委員会判断
					理由	⑤-3課題	
1	長寿支援課	4 1 2 4	短期人間ドック助成事業	自治事務	両方可可能性 現在までの助成内容では、一人当たりに対する助成額が大きかったが、後期高齢者健康診査と合わせて人間ドックを受診したり、利用者負担の割合を見直すことで、一人当たりの助成額を減らすことができるため、現状の事業費のまま利用者を増加させ、成果を向上させることができる。	ある 利用者の拡大が進めば、本事業の費用は増加するが、がん検診の費用が相対的に低下するため、市としての費用負担はほぼ変化しない。ただし、人間ドックの受診者数が増えることによって、がん検診受診率の低下とならないための、調整が課題である。	課題を解決し推進 課題解決に努め、利用者の負担割合等、市民の理解を得られるのであれば、推進すべき。
2	クリーン推進課	3 2 2 8	廃棄物処理企画調整事業	自治事務	両方可可能性 廃棄物処理手数料の見直しやごみ分別方法の細分化等また、リサイクルセンターを整備することにより、ごみの減量化やリサイクルの推進に効果がある。	ある 分別の細分化に伴う、収集・処理経費の増加。受益者負担の増加は、市民の理解に大きな課題がある。	検討 市民に直接かわることであり、引き続き慎重に検討すべき。